

◇戸 澤 勉 君

○議長（後松一成君） 次に、16番、戸澤 勉君の一般質問を許可いたします。

（16番 戸澤 勉君 登壇）

○16番（戸澤 勉君） 16番、戸澤 勉です。私が一般質問の通告書を提出してから先日、後松議長に呼ばれまして質問内容にアドバイスをいただきました。しかしながら、その意図が理解できず質問内容を変更すべきか悩みましたが、自分の良心に従いより多くの町民の声を正確に伝えることとして質問いたします。

第1に、第三セクターの千畑ヘルス観光株式会社の経営と運営についてであります。

初めに、町からの委託業務内容と補助金、事業内容、その金額についての資料の提出を求めます。成果と評価に基づいて見直し策を検討するのかお伺いいたします。

次に、数多くの事業展開をしておるわけですが、全体像を把握することがなかなか困難であり、資料として機構図の提出を求めます。

また、取締役員の在任中にその家族や兄弟の社員採用の有無について町民の声の中に公私混同を指摘されておりますが、信頼性が問われていることでもあり、町長の見解を伺います。次に、大規模浴室工事も終了して利用客に喜ばれる施設になりました。今回の工事発注はこれまでの町直営の工事と違い会社の発注になりました。これにより税金の発生があるようですが、その内容と今後の債務返済計画を説明願います。

また、今後の管理については会社管理になるのか、それとも町が管理するのかお伺いいたします。

次に、全国的に第三セクターが問題化しており、県の秋田空港ターミナルビル株式会社の問題も連日のように報道されておりますが、ヘルス観光もしっかりとした経営をしてもらうための自立に向けた業務の改善方法を伺います。

なお、社員教育も大切であり、その向上対策について伺います。

次に、前に述べたのと重複部分もあるでしょうが、利益向上対策として美郷町内の三つの温泉の統合化を進めるべきと思います。このことによりスケールメリットや社員交流によりすぐれた人材の確保とサービスの向上につながると思いますが、町長の見解を伺います。

次に、第2点目、地域循環バス、乗合タクシーの運行実現に向けた取り組みについて伺います。このことについては新町建設計画の重点事業として掲げられておりますが、この事業の実現に向けた取り組み方法について伺います。

また、現在、羽後交通による生活路線バス運行に対する町の負担額は年々増加しているようですが、その路線名と負担額についてお知らせ願います。

以上で質問を終わらせていただきますが、新生美郷町にとって本格的な予算議会でもありません。町長の信念の一つに掲げている公平の前に不公平をなくしての声も数多く、何よりも最初が肝心であり、見据える美郷町の第一歩、真心のこもったまちづくりを松田町長に期待します。終わります。

○議長（後松一成君） 松田町長の答弁を求めます。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） それでは、戸澤議員のご質問にお答えいたします。

初めに、千畑ヘルス観光株式会社の運営方針についてですが、町からの委託業務の内容と金額については、平成16年度分としては今、お手元に配らせていただいた別紙2の方です。こういった内容で委託並びに補助をしております。

なお、資料については両面刷りですので裏返して見ていただければありがたいと存じます。ご承知のように、千畑ヘルス観光は旧千畑町が株式の90%以上を出資して設立した会社です。さまざまな業務を会社に委託するに至った経緯は承知しておりませんが、第三セクターという会社の性格からこのような業務委託につながったものではないかと想定しております。しかし、合併を含めたさまざまな環境変化や平成18年度からの指定管理者制度等を踏まえると、今後の委託のあり方については内容等も含めて最良の方法を検討していかなければならないものと考えております。

次に、会社の機構についてですが、これもお手元に配らせていただいた資料1の方です。こういうふうな形態の機構図になっております。なお、氏名につきましてはプライバシーの関係から明示しておりませんのでご理解いただきたいと思います。

組織機構全体の見直しの考え方や具体先につきましては、会社経営にかかわる一義的な問題でありますので町長としての立場では言及できませんが、会社の株主として町の意見を述べさせていただきますと、経営環境を考慮しての組織機構や人事配置については、今後検討していただきたいと存じます。また、取締役の親族等の採用についてですが、伺ったところによりますと、現取締役や過去の取締役の親族等が社員として複数名在籍しているとのこと。氏名についてはプライバシーの関係から差し控えさせていただきますが、採用の経緯など詳細はまだ把握しておりませんので、今後、きちんと把握してまいりたいと存じます。

次に、浴室工事による税金と借入金返済についてですが、昨年10月に完成した浴室棟は、本来は町が建築すべきとの認識だったようです。しかし、財源の関係で実施のめどが立たなかったため、千畑ヘルス観光株式会社がJA秋田おばこから固定金利1.77%で3億円の融資を受け事業実施しております。そのため、税につきましては不動産取得税と固定資産税が発生し、不動産取得税は1回限

りですが17年に429万5,000円を、また固定資産税については17年に215万5,000円を納税することとなっております。固定資産税については今後、毎年度、納税していくこととなります。なお、納税については会社が行いますが、税額と同額を町が会社に補助するということが美郷町では引き継いでおります。

また、借入金については、16年度から30年度までの元利均等で15年間償還になっているようです。償還額は元利合計で3億3,922万1,260円とのことです。なお、これについても償還は会社が行いますが、償還額と同額を町が会社に補助することになっております。施設管理につきましても、建物修繕や源泉の維持管理経費、あるいは水道経費は町が担当し、小破修繕や施設方運営は千畑ヘルス観光が行っており、今後、こういった形態の施設管理が望ましいのか検討してまいりたいと存じます。

次に、独立採算に向けての業務改善と社員教育の向上についてですが、業務内容で大きなウエートを占めるのが温泉施設と温水プールなどですが、温水プールは平成15年度に雇用促進事業団から施設譲渡されたのを契機に千畑ヘルス観光株式会社が管理運営を行っております。15年度の温水プール収支は利用料収入が568万1,000円で、維持管理費が1,815万3,000円であったことから、委託開始の平成16年度では1,200万円の補助を行っております。

一方、温泉施設は浴室棟の完成もあり利用客が増加しているところですので独立採算が可能な施設と想定されます。業務改善に当たっては採算部門が不採算部門をどの程度カバーできるのか、あるいは不採算部門の取り扱いそのものをどうするのかを今後の検討課題になるものと存じます。したがって、独立採算にあわせての業務改善策は会社の自助努力とあわせ施設整備を推進した町としての目的や委託のあり方等もあわせて検討することが必要と考えております。

なお、社員教育については、町長としての立場では言及できませんが会社の株主として町の意見を述べさせていただければ、お客様あつての会社経営ですし、また地域住民あつての施設でありますので、一般論ではありますが、接遇教育を向上させるとともに、さまざまな状況に的確に対応できるよう業務能力の向上に向けた研修などを充実していただければと考えております。

次に、収益向上に向けての温泉施設統合についてですが、合併時の事務事業調整では同業種の団体については合併統合の方向で今後、検討することになっておりまして、第三セクターか直営かは別にいたしまして統合が望ましい共通認識であったと存じます。さらに18年度から指定管理者制度を導入する行政環境にもなっていることから、議員はそのことについてご存じのことと思いますが、そういった部分を考え合わせて検討していくことが必要かと存

じます。しかしながら、各温泉施設にはそれぞれの経緯や事情に大きな違いがありますので、行政環境の変化に加えてこうしたことも踏まえながら今後、統合運営の可能性や是非等について検討し、よりよい温泉施設の管理運営形態を模索してまいりたいと存じます。

次に、地域循環バス、乗合タクシーの運行実現に向けた取り組みについてですが、ご指摘のとおり、この取り組みは新町建設計画の重点事業になっております。そのため基本的に推進してまいりたい所存ですが、その推進に当たってはさまざまな検討が必要になるものと存じます。さきに六郷地区において実施された乗合タクシーの試験運行結果によりますと、7月、12月、1月に実施した試験運行では利用者がほぼ60歳以上で、利用目的が通院、買い物、温泉あるいは公共施設への利用というものが主でした。さらに1便当たりの利用者は利用の多かった冬場でも平均1.1人と低い利用率の結果となりました。旧六郷町で全戸を対象に行った乗合タクシーについてのアンケートでは、「あれば便利だか、まだ必要性を感じない」とか、「家族の送迎がある」という意見も多くあった次第です。地域循環バスや乗合タクシーの運行については、交通弱者施策としての位置づけや、あるいは高齢者福祉施策としての意味、地域振興施策としての意義等を十分検討するとともに、現在の庁舎間のシャトル便等の整理やバス路線との整理等も考え合わせ今後の推進のあり方などを深めてまいりたいと思います。

なお、生活バス路線については、国、県の補助対象となる赤字路線が8路線ありまして、うち7路線が県補助対象です。それから国庫補助対象が1路線となっております。さらに、町単独で補助をしている路線が延べ3路線あります。それら路線に対する県補助額を除いた町の持ち出し負担額は平成16年度の実績で1,311万8,000円となっております。

以上をもちまして答弁を終わります。

○議長（後松一成君） 16番、再質問ありますか。

○16番（戸澤 勉君） ありませんが、しっかりと調査して的確な対策をお願いして終わります。

○議長（後松一成君） 16番、戸澤 勉君の一般質問を終了いたします。